

さくらがわ

市議会
だより



令和8年8月1日
(2026年)



当市ホームページの
市議会情報ページへ
アクセスできます。



令和8年 第2回定例会

令和8年度 補正予算・
一般議案についての審議 2P

審議された議案と結果 3P

8名の一般質問 4～7P

常任委員会視察研修
編集後記 8P



地藏橋・・・桜川市真壁町酒寄

つくば市との市境に架かる橋です。
川の上流では、観音川と桜川が合流し
ています。

一般議案に対する 議案審議

令和8年第2回定例会は、6月9日から12日までの会期で開催され、多岐にわたり審議が行われました。その中から、主な質疑を掲載します。

農業経営支援事業の 対象と要件について

問 国からの2,525万9千円の補助金は、農家に對する農業用機械の補助ということだが、対象について伺う。

答 地域農業構造転換支援事業交付金は、農業の経営改善に必要な機械や施設の導入に對する補助金です。

今回、個人1名、法人3社から申請があり、市を経由して交付するものです。

対象者は、この交付金を活用して、保冷庫やトラクターなどを整備します。

問 対象となるにはどのような要件が必要となるのか。

答 主に、以下の成果目標等が採択要件となります。

- ・ 経営面積の3割または4ha以上の拡大
- ・ 付加価値額の1割以上の拡大
- ・ 労働生産性3%以上の向上

旅客税補助金について

問 国庫支出金として136万3千円が計上されているが、補助金の目的を伺う。

答 旅客税補助金は旅客税を財源とした国の補助金で、自然観光資源を守るため、環境省から交付されます。

当市では、外来生物対策事業として、クビアカツヤカミキリ防除対策に充当します。

クビアカツヤカミキリは、サクラやモモなどバラ科を中心とした多種の樹木を食い荒らす特定外来生物です。

市では、国指定天然記念物の「桜川のサクラ」をはじめ、市内に自生するヤマザクラの保護のためにも、クビアカツヤカミキリの情報提供および殺虫等の対応を呼びかけています。



外来カミキリシ類について
(市ホームページ)

高齢者あんしん通報 システムについて

問 令和9年度から令和12年度の4年間、限度額を4,125万1千円として、当該システムの予算を組んでいるが、どのような仕組みか伺う。

答 市では、75歳以上の一人暮らしの方を対象に、急病の際、緊急通報ができる機器を自宅に設置しています。

機器のボタンを押すと、24時間コールセンターにつながり、看護師等が状況を聞き取り対応します。

基本的に単独のNTTのアナログ回線を使用していますが、そちらが使用できない場合には、様々な業者の回線を使うように切り替わります。

令和9年度からの契約となりますので、内容等を改めて精査し、利便性・安全性が高いものを検討していきます。

5月13日 大阪府四条畷市 視察研修受け入れ

令和8年度5月13日、大阪府四条畷市より議員一名が、視察研修のため来庁しました。桜川市の定住促進策として、人生のステーションごとにサポートを受けられる「人生応援プロジェクト」の住宅取得助成金制度や、産婦人科・小児科オンライン相談等に関して説明を行いました。



審議された議案と結果 第2回定例会 (6月9日～6月12日)

専決処分	
令和7年度一般会計補正予算(第9号)	承認
令和8年度一般会計補正予算(第1号)	承認
税条例の一部改正	承認
国民健康保険税条例の一部改正	承認
桜川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額徴収に関する条例の一部を改正する条例	承認
その他	
令和7年度一般会計継続費繰越計算書	報告
令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
令和7年度水道事業会計予算繰越計算書	報告
令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書	報告
市道路線の廃止	可決
市道路線の認定	可決
条例の改正	
桜川市監査委員条例の一部を改正する条例	可決

補正予算	
令和8年度一般会計補正予算(第2号)	可決
令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
令和8年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決
請願・陳情	
大和駅北公園に大型遊具を設置するための費用・約7180万円を適正支出とした桜川市行政判断の検証を求める陳情	不採択
社会福祉法人桜川市社会福祉協議会における岩瀬認定こども園及び岩瀬東部認定こども園の統合移転計画について撤回の指導を求める請願書	採択



表彰状

全国市議会議長会
茨城県市議会議長会
(議員15年以上)

菊池 伸浩
仁平 実
鈴木 裕一

桜川市議会議員一般選挙 告示日・投開票日決定

任期満了(令和8年9月23日)に伴う桜川市議会議員一般選挙の日程が決定しました。

【告示日】令和8年8月30日(日)

【投開票日】令和8年9月6日(日)



上曾トンネル出口周辺戦略



飯島洋省 議員

問

トンネル開通を観光振興や地域活性化につなげるため、観光案内や地域産品販売機能を備えた交流拠点、あるいは誘客施設整備の可能性について検討しているか、民間事業者との連携やマーケティング・サウンディング調査などを実施しながら、交流人口拡大に向けた戦略について市の考えを伺う。

答

市長公室長 上曾トンネルの1日の平均交通量は、従来ルートと比較して約4倍に増加し、重要な交通インフラとしての役割を果たしていると言います。

物流の効率化や観光施設へのアクセス向上などからの波及効果も期待されており、交流人口の拡大を地域経済の活性化に結びつけるための周辺整備や、拠点づくりが不可欠であると考えます。

現在、建設物の内容、規模や道路進入口、地盤調査の有無などの協議を行っており、民間活力の導入やマーケティング・サウンディング調査の実施も併せて検討していきます。

問

枝葉や除草ごみの受入れ回数を増やす、地域ごとの臨時・巡回回収の実施、

火災予防対策強化に伴う処理支援

答

市民生活部長 廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、一部の例外を除き、廃棄物の焼却行為、いわゆる野焼きは原則禁止とされています。

本市としては、現時点で多様な排出機会を設けており、さらなる支援の拡充を行う予定はありません。しかし、5月に実施した粗大ごみ収集においても、剪定枝等を搬入された多くの市民の皆様からは、「自宅での焼却ができなくなったため」との声を頂戴しています。今後の粗大ごみ収集については、受入れ態勢のさらなる整備、拡充について検討を進めていきます。

その他の質問

・土地改良区の運営状況と物価高への支援対策
・最低制限ダンピング対策等入札制度の適正化

高齢ドライバーの事故防止対策について



武井久司 議員

問

高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違い事故が全国各地で発生し、大きな社会問題となっている。

高齢者にとって自動車は、単なる移動手段でなく通院、買い物、地域活動など日常生活を支える重要な生活の足である。

アクセルとブレーキの踏み間違いによる重大な事故防止、軽減対策に有効性がある後付け装置が注目されており、装置への補助制度を導入する自治体が増えている。導入支援に

ついて伺う。

答

市民生活部長 自動車は日常生活に不可欠な「生活の足」となっていますが、現在、装置の購入補助制度は設けていません。

高齢者の皆様が安全に運転を継続できるように、装置の導入に向け、他自治体の内容、実績を参考にし、実効性のある支援について検討を進めていきます。

中学校の部活動の移動・送迎について

問

市内中学校の部活動や認定地域クラブ大会時の、遠征や練習試合の際に、生徒の移動や送迎は公共機関の利用が原則とされている。

しかし、県西地域を見ても、公共機関を使

用した試合会場、施設へのアクセスは良くない。

中学生が参加する部活動や地域認定クラブの移動手段について伺う。

答

教育部長 学校管理下の大会等への移動手段は、バス会社を利用しています。

また学校部活動に代わるクラブ「認定地域クラブ」が主催する大会等の移動は、保護者による送迎が中心となっています。

市では、このような現状を踏まえ、クラブに対し、安全運行に関する規範の周知や保険への加入、安全管理の指導を徹底しています。



困難女性支援法について



市村 香 議員

問

施行から2年が経過しているが、桜川市の実態について伺う。

答

保健福祉部長
令和7年4月1日から保健福祉部内にこども家庭センターを開設し、妊娠や出産、乳幼児期の育児、家庭内の児童虐待、DVなどをはじめとする困難な問題を抱える女性からの相談にも、一元的に対応しています。

問

深刻な相談内容の有無について伺う。

答

保健福祉部長
今年度深刻な相

談は6件ありました。

庁内及び関係機関との緊密な連携を一層強化し、本市における女性相談支援体制の充実に努めます。

真壁学園の通学状況について

問

市の交通安全対策の現状と今後の取組について伺う。

答

建設部長 児童生徒が安全安心に通学できる環境の確保のため、学校からの要望や地域の皆様からの情報提供、通学路の合同点検などを通じて、危険箇所の把握に努めています。

源法寺区、塙世区の通学路では、現在、歩道整備及び道路拡幅事業を進めております。

真壁学園の通学路に

含まれる県道については、筑西土木事務所が管理しており、本年度の県道における除草業務を5月に発注しています。

市道については、6月から順次実施する予定です。

次期学習指導要領に向けた教育課程の柔軟化について

問

本市の取組状況と今後の対応について伺う。

答

教育長 今年度、現行の学習指導要領の範囲内、各教科規定の標準授業時数を確保する中で、市内3校において、独自の教育課程の柔軟化に取り組んでおります。

授業時間を短縮して生み出された時間は、読み書き計算の基礎定着の時間として、教科の確実な習得を図る学習のために使われています。

市議被告の裁判の救済策



菊池伸浩 議員

問

桜川市議会は、多くの裁判が行われています。私の裁判は、「市議会議員選挙中に、名誉棄損にあたるチラシが配布された」と訴えたもので、水戸地裁、東京高裁とも、私が勝訴しました。裁判は、時間とお金がかかりました。私は慰謝料を約35万円もらいましたが、弁護士には約45万円支払い、赤字でした。

問題は、今、市議会議員が被告の裁判です。勝訴した場合に救済策はあるのかということだと思います。この裁判は、議

問

会の開会中に起こったものだからです。水戸地裁では訴えられた被告の市議会議員側が勝訴しています。敗訴した原告が高裁に控訴しました(※)。

5月中に判決が出る予定が、7月に延期になっています。勝訴になっても、弁護士費用なども個人持ちですから、被告側の負担は大変です。

市として、救済策を持っているのでしょうか。伺います。

※7月8日東京高裁で、本件は棄却されました。

答

総務部長 本市では「職務上の行為に関する損害賠償請求事件等の被告になった職員が勝訴した

場合には弁護士費用を負担する規則」を制定しています。

そのため、市議も特別職で該当します。勝訴の場合、弁護士費用は市が負担します。

40万円の補聴器と1万円の集音器

問

私の義姉は、87歳で、40万円の補聴器をつけています。妹の私の奥さんは1万円の集音器を知人の勧めで付けるようになりました。どちらも、よく聞こえるようになったと言っています。

答

保健福祉部長 補聴器は、医薬品医療器等に基づいた医療器です。集音器は家電製品に分類されます。健康上のリスクが指摘されています。



磯部桜川公園における ヤマザクラの樹勢劣化と 安全対策について



萩原剛志 議員

問 クビアカツヤカミキリ対策について伺う。

近年、全国的に桜類への被害が拡大しているが、防除対策の現状と今後の対応について伺う。

答 総合戦略部長

本市におきましても、昨年7月に初めてその生息が確認されました。

これを受け、市民生活部をはじめ全庁的な連携の下で、迅速な防除対策に乗り出しているところでございます。特に磯部桜川公園内におきましては、名勝

指定地を含む全ての桜を対象に、防除のための薬剤散布を年2回実施する計画を進めております。

この対策により、成虫による樹皮への産卵を抑制するとともに、ふ化直後の幼虫を効果的に防除できるものと考えております。

また、職員による定期的な巡回点検を強化することはもとより、市が主催する桜守養成講座を受講された市民の皆様の温かいご協力をいただき、公園内の見回り体制を構築しております。

これにより、万が一の生息や被害が確認された場合でも、迅速な初期対応が可能となるよう備えてまいります。さらに、専門家か

らの見解によりますと、立ち枯れや著しく樹勢が劣化した古木は、当該樹木自体の危険性のみならず、病害虫の発生源となり周囲の健全な樹木へ被害を拡大させる恐れがあるとの指摘を受けております。

そのため、今後は関係部局間で緊密に情報を共有し、安全確保と被害拡大防止のための速やかな伐採手続きを進めてまいりたいと考えております。

その他の質問

- ・猛暑から市民の命を守る熱中症対策について
- ・麻疹(ましん・はしか)対策について
- ・公益通報制度の実効性確保について
- ・市役所におけるカスタマーハラスメント(※)対策について

※顧客の立場を利用した悪質なクレームや言動により、職員の業務を妨げること。

物価高騰対策としての 省エネ家電 買換え支援について



中田拓也 議員

問 物価高騰、とりわけ電気料金の

上昇が続く中、省エネ性能の高い家電への買換えは家計負担の軽減に加え、脱炭素や省エネルギーの推進にもつながることから、近隣自治体で補助制度の導入が進んでいます。

近隣自治体の実施状況と、本市の対応について方針を伺います。

答 市長公室長

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、各自治体の裁量によって実施しており、近隣では

筑西市、笠間市、下妻市が補助制度を導入し、対象家電や購入額に応じて1万円から最大5万円の補助を行っています。

本市では補助制度は実施していません。

その一方で、市民全体を公平に支援するため地域応援チケットを配付予定で、1人当たり1万2千円分、お買物券としては1万円分となっており、市内の家電量販店などでも利用でき、省エネ家電の購入にも活用できます。

さらに、物価高騰対策は今後も検討・実施していく考えであり、省エネ家電買換え補助についても引き続き検討して参ります。

問 市民から支援策をもっと早く知らせてほしかったとの声が寄せられています。要望として、今後は決定次第、迅速に周知してほしいです。

答 市長公室長

物価高騰対策の支援策が決定した際には、市広報やSNSなど様々な媒体を活用し、できるだけ早く情報発信していきたいと考えています。

その他の質問

- ・移住・定住促進の方策について
- ・校内フリースクールの進捗について
- ・市民の防犯意識向上のための方策について
- ・大和駅北開発の進捗について



岩瀬・岩瀬東部 認定こども園統合問題



林 悦子 議員

問

岩瀬・岩瀬東部
認定こども園の
統合について、市民の
間に混乱が起きている。

市には、教育・保育
施設のあり方について
の計画があるのか伺う。

答

保健福祉部長
市の、今後の教
育・保育施設のあり方
についての計画は未策
定です。

行政が主体となり、
計画の策定をしてまい
ります。

問

計画を策定する
上で、配慮して
ほしい3点について伺
う。

保育ニーズ等、様々な
観点から検討すべき課
題であり、具体的なこ
とは決定しておりませ
ん。

①「統合ありき」で
進めないこと。乳幼児
保育の目的は、働く親
の子育て負担の軽減と、
安心安全な保育環境で

あり、統合で保育児童
数を増やすことではな
いと考えるがいかがか。

②保護者の送迎負担
を軽く見てはいけない。

乳幼児は体調やケガな
ど、突然の園からの呼
び出しも多く、園は自
宅から近いことが望ま
しい。代替としてのバ
ス運行は、経費・運転
手確保などの問題もあ
るが、いかがか。

③『星の宮認定こど
も園』などの民間施設
を圧迫しないことにつ
いては、どう考えてい
るか。

答

保健福祉部長
①再編統合は選
択肢のひとつ。多様な

②再編統合について
は、教育・保育環境や、
保護者の利便性への影
響など、慎重に検討し
てまいります。

③本市の保育は、創
意工夫に富んだ民間施
設のご協力と、地域の
セーフティネットの役
割を担う公立施設とで
行っています。役割分
担を明確化し、双方が
補完しあう仕組みの構
築が重要だと考えてお
ります。

出生数の減少による
園児数の減少も見込ま
れ、施設の規模や配置
は、総合的に勘案いた
します。

その他の質問

- ・上曽トンネル開通後、
古城地内の騒音・振動
被害について
- ・給食費無償化、18歳条
件の撤廃について

市長の外郭団体会長の 兼務について



川股 隆 議員

問

市長は岩瀬こど
も園等の統合移
転について、市社協の
会長として理事会で15
回も発言し方向付けを
している。

他方、4月17日に副
市長名で「同意するに
は時期尚早である」旨
の意見書を出している。
4月17日の意見書は、
桜川市の公式な意思決
定か。

さらに、クラセル桜
川や市社協という議会
の監視が難しいところ
でものごとを決め、職
員、市民に迷惑をかけ
ているので、辞めるべ
きではないか。

答

副市長 意見書
は、市長も文面
を確認しており、市の
意思決定に間違いあり
ません。

市社協会長やクラセ
ル桜川の代表辞任につ
いては、それぞれの団
体内部で議論すべきも
のと考えます。

問

大和地区小中学
校統合に関する
アンケート調査

大和地区小中
学校統合に関す
る調査について、坂戸
小学校を入れたのは誰
の指示か。文教厚生委
員会の「桜川筑西IC周
辺での学校新設は前提
にしない」という市長
への要望書にあるよう
に、「前提としない」と
断言すべきではないか。

答

総合戦略部長
ベイシアについ
ては公表可能な情報が
整い次第、迅速な周知
に努めます。地権者会
顧問は、事業者との連
絡調整の円滑化という
公益的観点から、橋渡
し役を果たしていると
理解しています。

答

教育部長 学校
統合を検討する
上での一つの選択肢と
考えています。

答

市長 大和駅前
の学校は、今後
検討していきたい。あ
る程度、前向きに検討
していかなければなら
ないと考えています。

ベイシアの出店
および地権者会
の顧問について

問

ベイシアはいつ
出店するのか。
ある議員が地権者会の
顧問として、報道写真
に露出しているが、ベ
イシアの誘致に貢献し
ているのか。



総務常任委員会（千歳市、栗山町、美唄市）

■千歳市「防災学習交流センター そなえるについて」

千歳市の「そなえる」は、防災意識の向上を目的として、平成22年に設置された防災体験施設です。「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに、煙避難体験や震度7の地震体験などを通じて、災害時の具体的な対応や備えの重要性を学ぶことができ、市内の小学生を対象とした防災体験型プログラムを実施しています。

研修では、千歳市が過去に経験した北海道胆振東部地震の被害や、ブラックアウト（全域停電）についても説明を受け、当市の地域活動や防災教育に役立つ有意義な機会となりました。

他、栗山町「学校の跡地利用について」、美唄市「シティプロモーションについて」研修しました。



文教厚生常任委員会（那珂川市、宇美町、糸島市）

■那珂川市「ミリカローデン那珂川について」

ミリカローデン那珂川は、文化ホール、生涯学習センター、図書館、松口月城記念館を併設した複合施設で、平成6年に開館、令和3年から4年間に渡る大規模改修が行われました。

リニューアル後は、エントランスにカフェスペースや多様なテーブル・椅子を配置した休憩スペースが設けられ、多世代が気軽に集える場として機能していました。図書館も書架配置が見直され、開かれた空間づくりや多世代交流の促進など、当市の生涯学習センター「さくらす」とも共通する点が多くありました。

他、宇美町「部活動地域移行について」、糸島市「研究開発学校の取り組みについて」研修しました。



建設経済常任委員会（千歳市、札幌市、苫小牧市）

■札幌市「AIを活用した道路舗装点検システムについて」

札幌市では、道路パトロールや舗装点検において、高額な調査費や、膨大な作業量、点検者による判断のばらつきが課題になっていました。

そこで、AI技術を活用した「道路パトロール支援サービス」を採用したところ、調査期間・調査費用ともに大幅に縮減されました。

また、道路に関するデータを一元管理することで、全体の維持管理効率化につながったということです。

他、千歳市「道の駅・サーモンパーク千歳」、北海道建設技術センター「橋梁点検地域一括発注支援について」、苫小牧市「ラビダス関連産業の集積と周辺のインフラ整備について」研修しました。

編集後記

今年の夏も、非常に暑くなることが予想されています。市内でも、各地で様々な祭りやイベントが開催されます。夏休みも始まり、家族での外出も増える時期です。熱中症に注意しながら、夏を楽しんでいただきたいと思います。

また、今号の議会だよりをもって任期の4年間の終了し、広報特別委員会の仕事も一区切りになりました。9月6日投開票で、市議会議員選挙が予定されています。次号からの議会だよりは、新たなメンバーでの編集

になると思います。

これまで大変お世話になりました。今後とも、議会だよりを楽しみに読んでいただけることを願っております。

軽部 徹



議会広報特別委員会

委員長 中田拓也 副委員長 武井久司

委員 林 悦子・菊池伸浩

飯島洋省・軽部 徹

発行責任者 議長 風野和視

次の定例会は

10月20日(火)

10時開会予定です。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

議会日誌

5月

12日 文教厚生常任委員会

14日 総務常任委員会

19～21日 総務常任委員会視察研修
建設経済常任委員会視察研修

20～22日 文教厚生常任委員会視察研修

6月

3日 総務常任委員会

文教厚生常任委員会
建設経済常任委員会

4日 議会運営委員会
議会全員協議会

9～12日 第2回定例会

10日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会

7月

16日 議会広報特別委員会